

稲作農家の皆様へ

# 飼料用米に取り組みましょう

岡山県農業再生協議会（平成30年1月）

## 飼料用米の助成は継続されます！

- 全国的に主食用米の超過作付が解消され、米価は回復していますが、主食用米の需要量は毎年減少しています。引き続き飼料用米の生産に取り組みましょう。

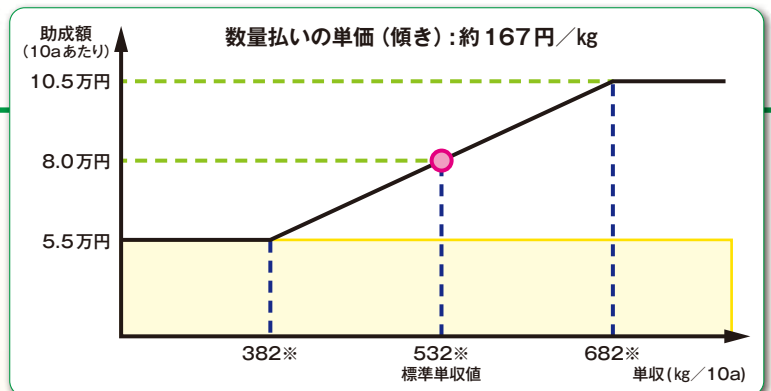
- ▶作付段階で収入が見通せるため、経営安定につながります。
- ▶飼料用米には大口の需要があります。

### 飼料用米の取組状況

	29年産飼料用米生産見込 (平成29年9月15日時点)	28年産飼料用米生産状況	27年産飼料用米生産状況
全 国	48万トン	48万トン	42万トン
岡 山 県	8,416トン	8,086トン	6,176トン

## 支援1 水田活用の直接支払交付金（戦略作物助成）

- 数量払いの導入で最大 **10.5万円／10a**  
標準単収でも **8万円／10a**（作況指数100の場合）
- ・交付対象者は販売農家・集落営農
- ・数量払いによる助成は、農産物検査機関による数量確認を受けていることが条件。
- ・※は全国平均の平年単収（標準単収値）に基づく数値であり、各地域への適用に当たっては、地域農業再生協議会が当該地域に応じて定めた単収を適用。
- ・標準単収値は、作況に応じて変動（作況調整）します。



## 支援2 水田活用の直接支払交付金（産地交付金）：多収品種

- 多収品種に取り組むと〈支援1〉の上乗せで助成されます。助成単価：**12,000円／10a**

### 多収品種とは…

- ・モミロマン、ホシアオバ、夢あおば等、主食用以外の用途向けに育成され、一般的な主食用品種と比べて収量が多いと国が認めた24品種

岡山県では特認品種として「**中生新千本**」も同じ助成を受けられます

岡山県だけ  
ここがポイント!

## 支援3 水田活用の直接支払交付金（産地交付金）：大規模作付する担い手

- 飼料用米に1ha以上取り組む担い手※には〈支援1〉の上乗せで助成されます。

※認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織、人・農地プランにおける中心経営体

助成単価：**8,000円／10a**

岡山県だけ  
ここがポイント!

（注）産地交付金は、〈支援3〉以外に、地域農業再生協議会が別途、独自助成措置を設けている場合があります。詳細は各地域農業再生協議会におたずねください。

（注）〈支援1〉～〈支援3〉の交付金の単価や要件等は、国における平成30年度予算要求に基づくもので、今後変更となる場合があります。

# 省力・低コスト技術に取り組みましょう!

## 湛水直播

- 育苗作業が省略できて作業時間が短縮され、育苗に係る資材・人件費が不要になります。
- ほ場の選定には、水利用の利便性やほ場の均平化を考慮してください。
- 雑草やスクミリンゴガイが多発しているほ場では、収量が低下する可能性があります。

## 鶏ふん基肥利用

- 基肥に安価な鶏ふんを用いることで、肥料費の削減につながります。
- 鶏ふん散布には散布用機械が必要で、まとまった面積での取り組みをおすすめします。
- 製品によって含有成分や肥効特性が異なります。成分含有量を確認し、施用量を調整してください。
- 生育後半の窒素が不足して減収することがあるので、追肥が必要です。

## 密播育苗

- 高密度に播種した苗の移植により苗箱数を大幅に削減し、育苗資材費の削減や苗運搬等の労力削減につながります。
- 保有している田植機で対応ができるかどうかは、機械メーカーにお問い合わせください。

## 育苗箱全量施肥

- 緩効性の窒素肥料を育苗箱に施肥することにより、窒素肥料の本田施肥や追肥を省略でき、肥料費と労働費の削減につながります。
- 苗の生育が早まり、苗丈が長くなる傾向があるため、適期に移植してください。

## 多収品種(モミロマン等)に取り組む場合の注意点について

### ●飼料用米が主食用米に混入しないように、細心の注意が必要です。

作業の効率性・異品種混入防止等のために、団地化に取り組みましょう。  
採種ほ場の周辺では、採種ほ場への影響が考えられるので、事前にJA等へ相談しましょう。

### ●栽培する地域や用途に適合する品種を選定しましょう。

専用品種は、主食用品種より登熟期間が長く、肥料が多く必要です。  
作業適期が主食用米と異なる場合があり、水管理等が心配な場合は、地域で話し合いをしてください。  
適切な栽培管理(移植時期、施肥管理、水管理等)により、収量増大が可能になります。

### ●一部の農薬に強い薬害を受ける品種があります。

モミロマンやミズホチカラ等は、ベンゾピシクロン等の成分が含まれた除草剤を使用すると薬害が発生し、強い生育抑制と白化症状を示して枯死する場合があるので、注意してください。

### ●コンバインの負担が大きくなります。

専用品種は多収のため、もみ量が多いことや、茎が丈夫であることから、収穫作業時のコンバインの負荷が大きくなり、一般品種と比較して刈り取りにくい傾向があります。  
走行速度を遅くする、一度に刈り取る条数を減らす、刈り取り位置(刃)を高くする等の対応が必要になる場合があります。



### ●飼料用米に関するお問い合わせ窓口

問い合わせ先	所在地	電話番号
中国四国農政局 生産部 経営所得安定対策チーム(岡山県担当)	岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎	086-233-1577(代)
岡山県農業再生協議会事務局		
(JA岡山中央会総務企画部)	岡山市北区磨屋町9-18	086-232-2358
(JA全農おかやま営農・生産部)	岡山市北区磨屋町9-18	086-234-6875
(岡山県農林水産部農産課農産振興班)	岡山市北区内山下2-4-6	086-226-7424
各農業協同組合、各県民局農林水産事業部(農畜産物生産課、農業普及指導センター)		

●「中生新千本」技術資料 [http://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/540454\\_4242705\\_misc.pdf](http://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/540454_4242705_misc.pdf)

●「飼料用米生産コスト低減マニュアル」 <http://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/attach/pdf/siryouqa-22.pdf>

●「多収品種に取り組むに当たってー多収品種の栽培マニュアルー」

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/attach/pdf/siryouyoumai-2.pdf>